

【生産局長賞】

○ かたつむりの会（広島県神石郡神石高原町）【有機農業の分野】

かたつむりの会は、平成16年に設立され、有機農業を実践する生産者と、食の安全と健康にこだわる消費者が相互に協力し、一体となって会の運営を行い、広島県が推進する「環境にやさしい農業」を長年にわたり実践している。また、神石高原町の一部の地区で始まった取組みが、継続的な活動により町内の他地区や隣接する市町等の有機農業の実践者へと波及し、連携が拡大している。

当会の生産者と消費者は、産直システムの単なる売り手と買い手の関係ではなく、同じ会員として運営に参加する仲間という位置づけになっており、水稻アイガモ農法の生産地学習会時には田植えやカモ放逐の手伝い、椎茸木作成・炭作り・野菜定植の手伝い等を随時行い、生産者の負担を減らすとともに、有機農業体験を通じて農作業の大変さや農作物を作る喜びを学んでいる。また、消費者側が主導で花見、感謝祭などの交流会も開催している。

会の運営は、全てボランティアで行われているため、会員相互の意思疎通と情報共有が大切に、交流会への参加や会報誌等で生産者・消費者の生の声を載せ、情報共有を図っている。作る専門・食べる専門で終わらず、「自分が食べる野菜を、どんな人がどんな思いで作っているのか」、「自分が作った野菜を、どんな人がどんな思いで求めて食べているのかをお互いに学びあうことで、より継続的な活動を目指している。

さらに、当会では、有機農業に関心のある若者を全国から受け入れて指導し、その有機農業研修を受けた方々が全国各地に就農しています。そして、平成24年度からは地元自治振興会とともに「神石高原有機農業塾」を開校し、発展した形で有機農業を実践する人材の育成を行うとともに、定住対策として住まなくなった民家を修理し、希望する方に提供しています。また、(株)ローソンと提携し、「(株)ローソンファーム広島神石高原町」が設立し、就農の場の確保と栽培面積の拡大が図られている。



生産地学習会



収穫感謝祭